

子ハ淡紅脚黒シ、タテヒハ處々青黄ナリ、カラヒハヨリ微大、麻ノ實ヲコノンデ食フ、河原ヒハ、タ
デヒハノ大ナルナリ、國俗ニ鴉ノ字ヲヒハトヨム、於中華之書出處未詳、

〔喚子鳥_下〕粒餌小鳥の分 何にても水を入る

まひは 五がひ 五のごま すり五五分五よし

大ききすゞめにちいさく、青く黄色にて尾羽にひは色有て、きやまやにまほらしき鳥なり、囀り
よし、冬多く來る、年によりてわたらぬ事あり、

河原ひは 五がひ きび、あは、ひ五、米、 すり五四分五よし、

大ききすゞめにふとし、大かはら小かはらとて、少し大小二品有、けいる眞ひはに似て鳥がらい
やし、囀り有、子がひ尤さへづりよし、冬おほく出る、

〔山家集_下〕ことりどものうたよみける中に

こゑせずと色こくなるとおもはまし柳のめはむひはの村鳥

〔看聞日記〕永享七年六月廿五日、養小鳥_{ヒハツ}三、入籠、簾代之内ニ釣、_{○下}

〔武江産物志〕山鳥類 鴉_{わがひは}、_{四ツ谷邊}、べにひは、かわらひは等有、

〔瑤囊抄〕鳥類字 山雀_{ヤマカザ}

〔饅頭屋本節用集_{生也}〕山雀_{ヤマカザ}

〔書言字考節用集_{五氣形}〕鴉_カ所用_ニ鴉_カ字_ニ詳_ニ甚_ニ矣、山陵_同鳥_夫 山連_同 山柄_二

〔本朝食鑑_六〕山雀_{加良}訓_也末

集解、狀似、頰白而頭黃白帶赤色、眼之前後及頰有黒條、背灰赤色、嘴胸翅尾俱黒、腹赤色、性慧巧能囀、
久養馴致、則籠中飛舞者最巧、故兒女以紙造細繩、結之作環輪形、重重懸于籠中、則鳥遶穿其隙及輪
中而反翻、常好胡桃食、又食荏子、其平生所養者用研餌、其法用生蕪菁莖葉而研爛、合米粉生魚肉研